

読売新聞

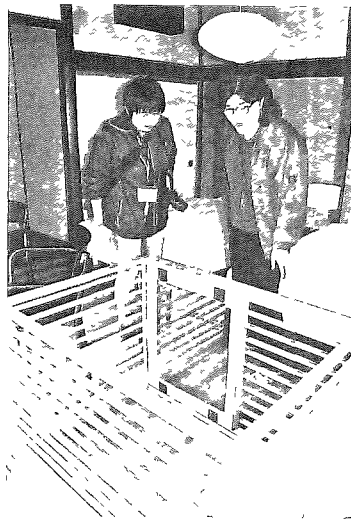
古民家ホテルを
ペットと楽しむ

香取に3室オープン

香取市の観光まちづくり会社「NIPPONIA SAWARA」は1日、古民家ホテルの宿泊棟「SEIGAKU」(同市佐原イ)に、ペットと泊まれるドッグラン付きの3室をオープンした。同社の杉山義幸社長は「ペット同伴の需要を見込んで対応した。多様な宿泊を楽しんでもらいたい」と話している。

古民家や蔵を再生した宿泊施設「佐原商家町ホテル NIPPONIA」は、同社が施設を手がけ、バリューマネジメント社(大阪市)が運営している。今年3月の開業時はフロント・レストラン棟「GEISHO」、宿泊棟「YATAI」(3室)、同「AOI」(1室)でスタートした。

10月1日にSEIGAKUの2室がオープン、今回ドッグランのある3室を増設した。10月末までに、延べ約900人が宿泊したという。宿泊予約は専用電話(0120・210・2889)。



ペットと泊まれる古民家ホテル「SEIGAKU」棟の部屋。室内にはペット専用ケージがある(香取市佐原イで)